

おうちで楽しむ!
草津れきし発見隊!!

くさつ 草津ものしりクイズ

上級編 1 回答解説 (答え合わせ)

読むのがおぼつかしいときは、おうちの人といっしょに読んでね。

もんだい
1

答えは③の「天井川は滋賀県でのみ見られる地形的な特徴である」です。天井川は滋賀県だけでなく、例はあまり多くありませんが、全国各地で見ることが出来ます。

草津川は、昭和に入ってから大雨などで度々氾濫し、周辺地域に甚大な被害を及ぼしました。このような状況から、市民は川の平地化を訴え続け、昭和57年(1982)に河川の平地化工事が始まり、平成14年(2002年)には新河川への通水が開始されました。一方、草津川の跡地には平成29年(2017)に「草津川跡地公園 de 愛ひろば」および「ai 彩ひろば」が開設され、市民に親しまれる公園に生まれ変わりました。

こたえ

③



(草津市蔵) 歌川広重画
「木曾海道六拾九宿之内 草津追分」



草津川跡地公園 (de 愛ひろば)
(画像提供: 草津市草津川跡地整備課)

もんだい
2

答えは①の「それまでの土器と比べて堅く丈夫なため、鍋やフライパンのように煮炊きに使っていた。」です。

須恵器は、それまでに作られていた土師器に比べて、堅くて丈夫な土器ですが、直火にかけると割れてしまいます。




そのため、須恵器がつくられるようになってからも土師器は使用され続けました。この頃になると、土師器は主に煮炊きや食器として、須恵器は貯蔵用やお膳などに使われるなど、用途によって使い分けされるようになりました。

こたえ

①



左: 坏蓋 右: 坏

<p>もんだい 3</p>	<p>答えは①の「(国)新宮神社本殿・(県)西方寺鐘楼・(市)三大神社のフジ」です。</p>
<p>こたえ ①</p>	<p>②の苗村神社は滋賀県竜王町に所在する神社で、その本殿は国宝に指定されています。また、草津川桐生堰堤(オランダ堰堤)は大津市に所在する県指定の文化財です。</p> <p>③の畑シダレザクラは、草津市ではなく甲賀市の市指定文化財です。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">    </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 5px;"> 新宮神社本殿 三大神社のフジ 西方寺鐘楼 </div>

<p>もんだい 4</p>	<p>答えは②の「渋川の花踊り」です。</p>
<p>こたえ ②</p>	<p>渋川の花踊りは県の選択無形民俗文化財で、毎年9月13日に渋川の伊砂砂神社で夜に提灯で明かりを灯しながら奉納される踊りです。その起源は雨乞いのお礼踊りとされており、大きな提灯を中心に音頭取りとシンボウウチ、太鼓持ちが立ち、その周りを踊り手が円になって囲みます。</p> <p>①草津のサンヤレ踊りは市内7つの地域で5月3日に行われる踊りで、③上笠天満宮講踊は毎年10月下旬に上笠天満宮で行われる踊りです。①③はいずれも昼間に行われます。</p>

<p>もんだい 5</p>	<p>答えは③の「田中七左衛門本陣」です。</p>
<p>こたえ ③</p>	<p>草津には、江戸時代「田中七左衛門本陣」と「田中九蔵本陣」の2軒の本陣が置かれていました。しかし、明治に入り、「田中九蔵本陣」は小学校の用地とするため取り壊されました。「田中七左衛門本陣」は明治・大正・昭和・平成・令和と守り継がれ、「史跡草津宿本陣」として江戸時代の姿を今に伝えていきます。</p> <p>②の小島本陣は石部宿(現湖南市)に所在した本陣の名称です。現在はその跡地に石碑が建てられています。</p>

【問合せ先】

草津市歴史文化財課 ☎525-8588 草津市草津三丁目 13-30

TEL : 077-561-2429 FAX : 077-561-2488 E-mail : bunkazai@city.kusatsu.lg.jp